

うらおそい歴史新聞



第49号

組踊上演300年記念 市民歴史講演会
「組踊の過去・現在・未来」
講師 大城學氏（元琉球大教授）

今年2019年は、組踊が首里城で初めて上演されてから300年の節目の年にあたります。そこで、うらおそい歴史ガイド友の会では「組踊の過去・現在・未来」というタイトルで市民歴史講演会を企画しました。講師には元琉球大学法文学部教授の大城學先生をお招きします。この機会にぜひ、組踊の歴史と浦添のつながりを学んでみませんか。多くの方のご参加をお待ちしております。詳細は下記をごらんください。



【市指定史跡・玉城朝薫の墓】
組踊の創始者・玉城朝薫の墓は浦添市の前田トンネルの上になります。現在は復元整備され、一般の方も見学できるようになっていますのでぜひご覧ください。

6月には組踊の創始者・玉城朝薫ゆかりの地をめぐるガイドツアーを企画中です。乞うご期待ください。

●タイトル
「組踊上演300年記念 市民歴史講演会 組踊の過去・現在・未来」
●講師 大城學 先生（元琉球大学法文学部教授）
●日時 平成31年4月13日（土）
●受付 17時 開演 18時 終了 20時

●会場 浦添市中央公民館3階ホール
●定員 100名（要申込、先着順）
●料金 無料

●申込期間 3月12日～4月9日

●申込先 浦添グスク・ようどれ館

●電話 098・874・9345

●受付時間 9時から17時（月曜休）

●主催 NPOうらおそい歴史ガイド友の会

●共催 浦添市教育委員会
●後援 浦添市

『勢理客・小湾・大平地域』の紹介をします

先日2月10日に『勢理客地域の散策』を開催し多くの方に参加頂きました。開催にあたり『うらおそい散策

マップ 勢理客・小湾・大平』のリーフレットを作成しました。今回はその中の内容を一部紹介します。

勢理客地域には、井泉のカーグアー、ウビガー、ヒージャー（勢理客樋川）、や勢理客御堂（根神）、集落の発祥地といわれているグスクジョー（コバ森）にあった御嶽、殿、火の神、チンガー（井戸）などを合祀した合祀祠、十七世紀後期、木橋から石造の単拱橋（アーチ橋）に架け替えられたことを記念竣工記念の勢理客橋（1989年復元）があります。

旧暦八月十五夜に行われる獅子舞は、約四百年前に伝えられたとされ、昭和四十八年に「記録作成等の保存措置を講ずべき国の無形文化財」に選択され、昭和五十六年には浦添市の無形文化財にも指定されています。



【国選定・市指定無形民俗文化財 勢理客の獅子舞】
毎年旧暦八月十五日に、勢理客公民館で獅子舞をみるすることができます。今回は勢理客獅子舞保存会の前会長の仲西正勝さんが解説をしてくださいました。

小湾地域は、三様（勢利家、外間家、大城家）の先祖によって創建されたとされています。集落は、小湾川の河口右岸に位置する海辺の集落でした。元々の小湾村は風光明媚な土地として知られ、尚家の中城御殿を初め、松山御殿、宜野湾御殿、読谷山御殿などの別荘地がありました。現在は米軍キャンプキンザー地内となっています。戦前は、闘牛（ウシオーラシ）が盛んで、那覇や宜野湾あたりから多くの人が見物に来ていたと言われています。

戦後は、米軍の土地接収により旧居住地への移動が見込めなかったことから、現在の宮城地番に八十世帯余りで小湾集落が形成されていきました。大正天皇即位を祝う記念行事に創作された「小湾アギバリー」は現在復活され、現在、宇宮城、宇大平で毎年一月二日に無病息災、地域の発展を祈願し新年の行事として行われています。

大平地域は、もとは安波茶の一部で、首里から移住してきた土族の屋敷集落でした。初めて住み着いた家は、安谷屋家（アムル）や比嘉家（仲西堂）で、今から約二百年前だといわれています。戦前は、サトウキビを中心にキュウリやナスの産地として知られていました。集落内には八箇所ほどの製糖小屋があり、製糖期の頃は大変なにぎわいをみせていたそうです。（奥間 明）

○浦添グスク・ようどれ館

国指定史跡「浦添城跡」のガイドンス施設です。浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や戦前の写真パネルなどを展示しています。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】
大人（高校生以上） 1000円
小人（小中学生） 500円

※市内小・中学生は無料

【休館日】
月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53-1

【電話】098-874-9345

【アクセス】

琉球バス交通 牧港線（55番）
仲間バス停から徒歩5分



【浦添グスク・ようどれ館】

浦添ようどれ墓室（西室）の原寸大の模型がみどころ。館内は、NPO法人うらおそい歴史ガイドが展示の解説も担当します。駐車場も完備しています（大型バスも対応可）。

○浦添大公園南エントランス展示コーナー

浦添グスクの南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスクの模型のほか、グスクを紹介するパネルや出土品のレプリカを展示しています。入場無料です。で、お気軽にお訪ね下さい。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】無料

【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53

【電話】098-876-3555

【アクセス】

琉球バス交通 56系統
浦添小学校前バス停から徒歩5分



【浦添大公園南エントランス展示コーナー】

施設の中には「うらおそい歴史ガイド」が解説員としていますので、解説をご希望の方は気軽に声をかけてください。駐車場も完備しています（バス対応可）。

○浦添市歴史にふれる館

浦添の遺跡の出土品や民具を収蔵・展示している施設です。展示室では、縄文時代の土器から、戦前まで実際に使われていた道具などを展示しており、浦添の歴史を学習することができます。

【開館時間】午前9時30分～午後5時

（入館は16時30分まで）

【入館料】無料

【休館日】土日・祝祭日（慰霊の日）・年末年始

【住所】〒901-2134

沖縄県浦添市港川512-11

【電話】098-876-1295

【アクセス】

文化財課文化財係まで
琉球バス交通 20系統他
第一牧港バス停から徒歩15分



【浦添市歴史にふれる館（やかた）】

平成28年2月にオープンした文化財の収蔵展示施設。収蔵室の一部も公開しています。駐車場も完備しています。

○うらおそい歴史ガイド ツアー随時受付中です！

浦添グスクをはじめとした、市内の史跡や歴史スポットを有料でガイドします。

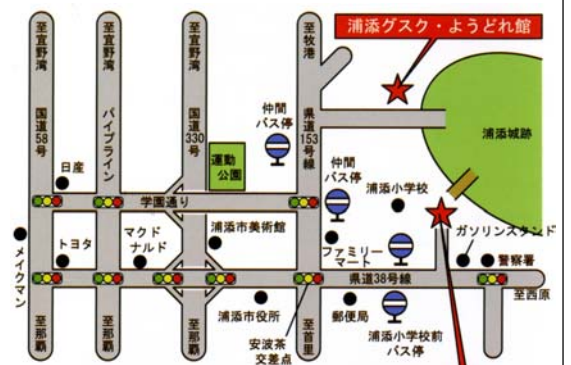
料金ガイド1名当り（20名まで対応可）
1時間 1,500円/2時間 3,000円

団体でのご利用や、コースや時間などは相談に応じます。お気軽にご相談下さい。

申込先 浦添グスク・ようどれ館
電話 098-874-9345



浦添市歴史にふれる館の地図



浦添グスク・ようどれ館と浦添大公園南エントランス展示コーナーの地図